

周産期オープンシステム 利用者アンケート 集計結果

具体的にどのような点が違ったか、お書き下さい。

- クリニックでは母親教室を行っていなかった。(26 歳)
- 自宅近くの開業医は分娩を扱っていませんでしたが、すでに子供が一人いたので、待ち時間の少ないこの病院で9ヵ月になるまで診察をお願いしました。(35 歳)
- 貧血の検査をしたかどうか聞かれたが、出来れば医師(病院)同士の間で、患者に確認せずやりとりして頂きたいと感じた。(32 歳)
- 県病院の方が、質問しにくい雰囲気だったし、先生によって言うことが異なって誰の言うことを聞けばいいか迷った。出産後の入院中などはとても良くしてもらいました。(28 歳)
- エコーの写真をくれるかどうか。エコー中にもベビーの事を「頭がここで・・・」など異常ではないけれど詳しくクリニックでは説明してくれたが、県病院では「異常ないですよ」の一言だった。正常な妊婦をメインとしていないので仕方ないかもしれないけれど・・・(33 歳)
- 毎回の診察費用は県病院の方が4千円近く安いので驚いた。待ち時間は初診の時間が3時間少しばかり長かったので辛かった。予約できた時はクリニックより20分位長かった。診察はクリニックは体重測定→血圧→超音波→診察とスムーズになっていたが、県病院では尿等を採った後、再び内診まで待つので仕組みの違いに初めとまどった。クリニックでは超音波の時、「ここが足で手で背骨で・・・」とかこと細かく説明し写真もくれるが、県病院ではほとんど無言でDrがチェックされ写真ももらえないので驚いた。(29 歳)
- クリニックでは毎回超音波検査があり、細かな説明があったので検査が無いと始めは不安があった。診察費がクリニックより安かった。(38 歳)
- 超音波の写真を県病院はくれない。説明もあまりない。(28 歳)
- クリニックでは土曜日でも健診してもらえた。また、仕事帰り(夕方)でもよかった。(31 歳)
- クリニックでは毎回超音波をしてもらえたので、赤ちゃんの姿を自分の目で見ることができ、大きくなっている様子などが実感できた。(31 歳)
- クリニックではエコーの写真をもったりビデオにとってくれたり、妊娠中を記録に残せ、サービスがよかった。県病院では医療行為といった感じを受けた。(27 歳)